

【会議紀要】 2024. 12. 11（黄曉芬記）

世界遺産登録5周年記念

古墳サミット

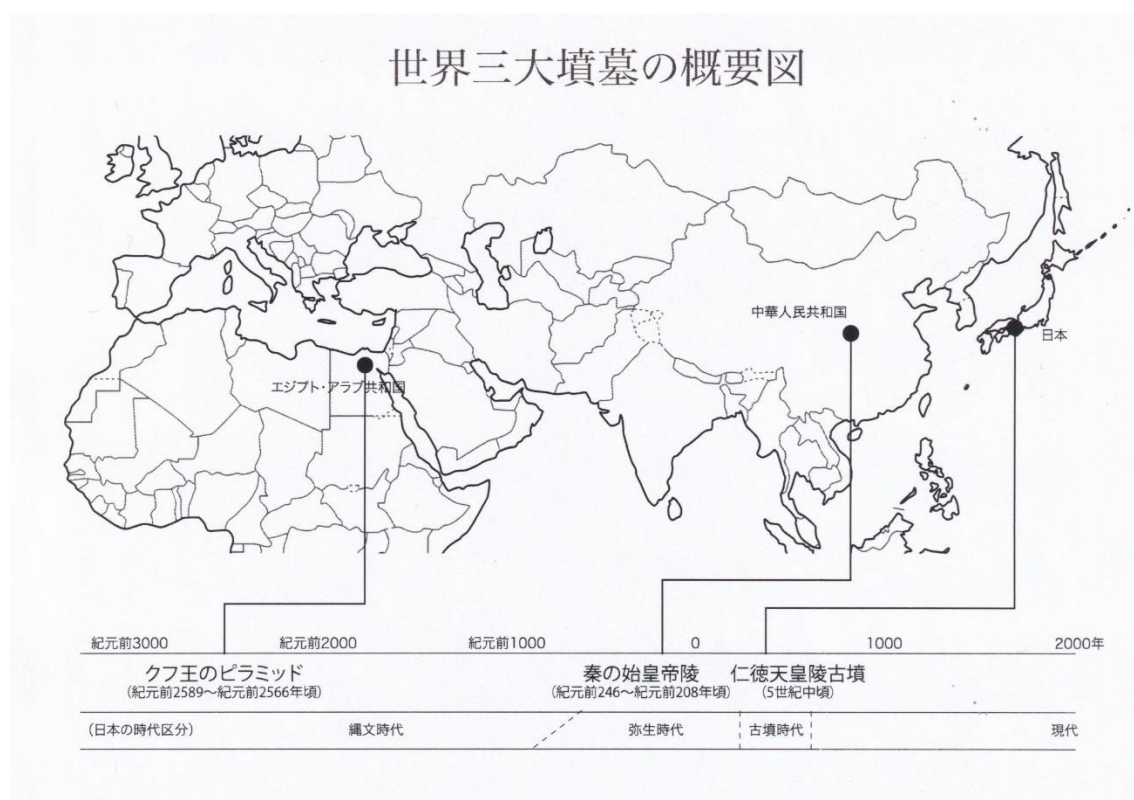
～世界三大墳墓～

日時 令和6年11月30日(土) 13:00～15:30

場所 フェニーチェ堺 市民芸術文化ホール

主催 大阪府 堺市

後援 百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議



プログラム

日時 令和6年11月30日(土) 13:00～15:30

場所 フェニーチェ堺 大ホール

◇開会 堺市長あいさつ

エジプト・アラブ共和国大使メッセージ

中華人民共和国駐大阪副総領事メッセージ

◇講演

・クフ王の大ピラミッドの最新研究調査

名古屋大学高等研究院 准教授 河江肖剰氏

・秦の始皇帝陵の魅力

東亜大学人間科学部 教授 黄 曉芬氏

・仁徳天皇陵古墳の魅力

愛知学院大学文学部 教授 加藤一郎氏

◇トークセッション

大阪府 羽曳野市長 山入端 創 氏

藤井寺市長 岡田一樹 氏

堺 市長 永藤英機 氏



左) 藤井寺市長・加藤氏・河江氏・エジプト大使・堺市長・中国副総領事・黄・羽曳野市長



開会式 堺市長の挨拶

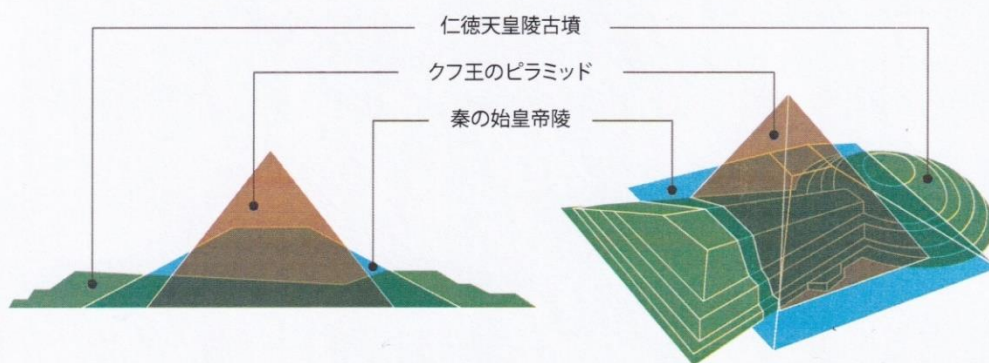


エジプト大使館大使



中国大阪副総領事

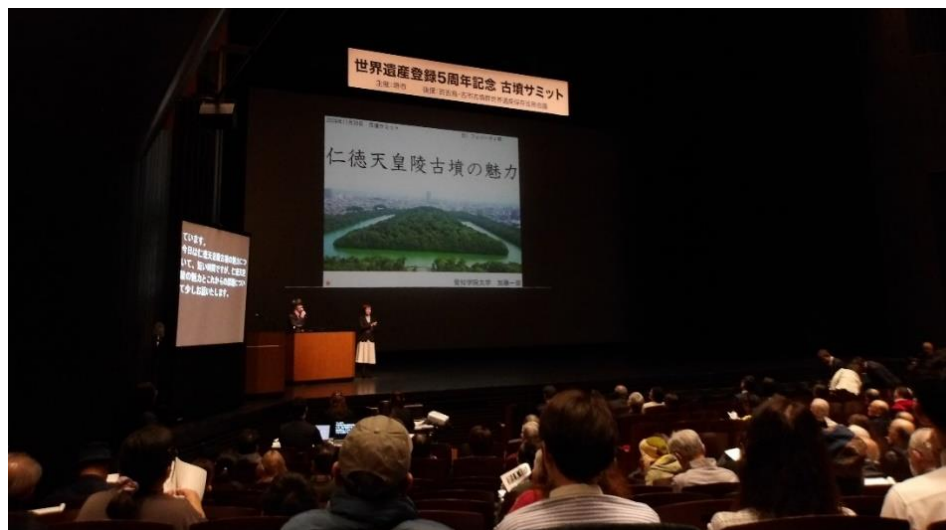
世界三大墳墓の概要



	仁徳天皇陵古墳	クフ王のピラミッド	秦の始皇帝陵
全長	486m	230m	350m
高さ	35.8m	146.6m	76m
体積	140万㎡	260万㎡	300万㎡



クフ王の大ピラミッドの最新研究調査（河江肖剰）



仁徳天皇陵の魅力（加藤一郎）



- * 陵墓（皇室用財産）と古墳（文化財）との折り合い、
- * 文化財の観光利用、持続可能な文化財保護体制

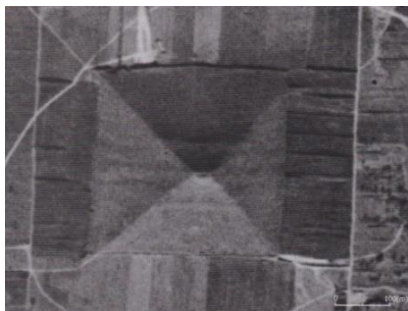


秦の始皇帝陵の魅力（黄 曉芬）

以下、黄曉芬の講演要旨（抜粋）

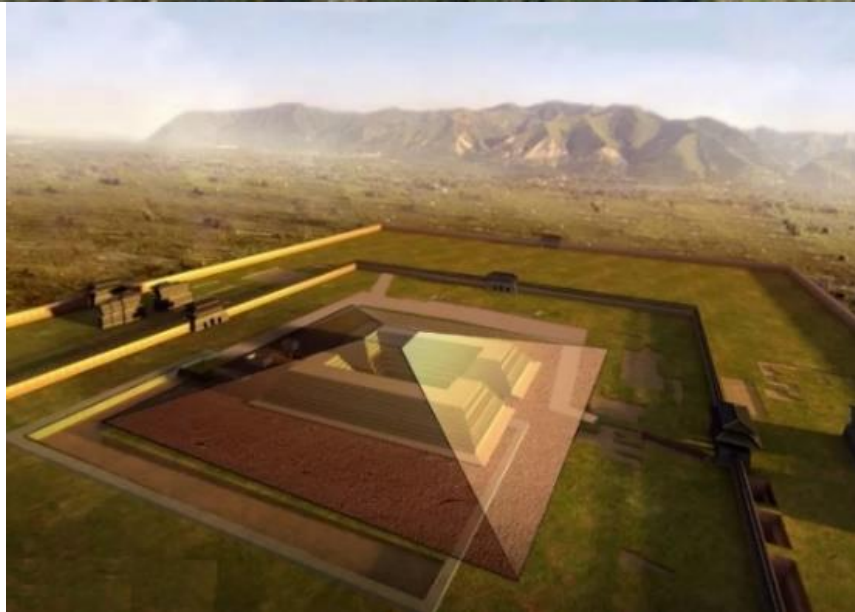
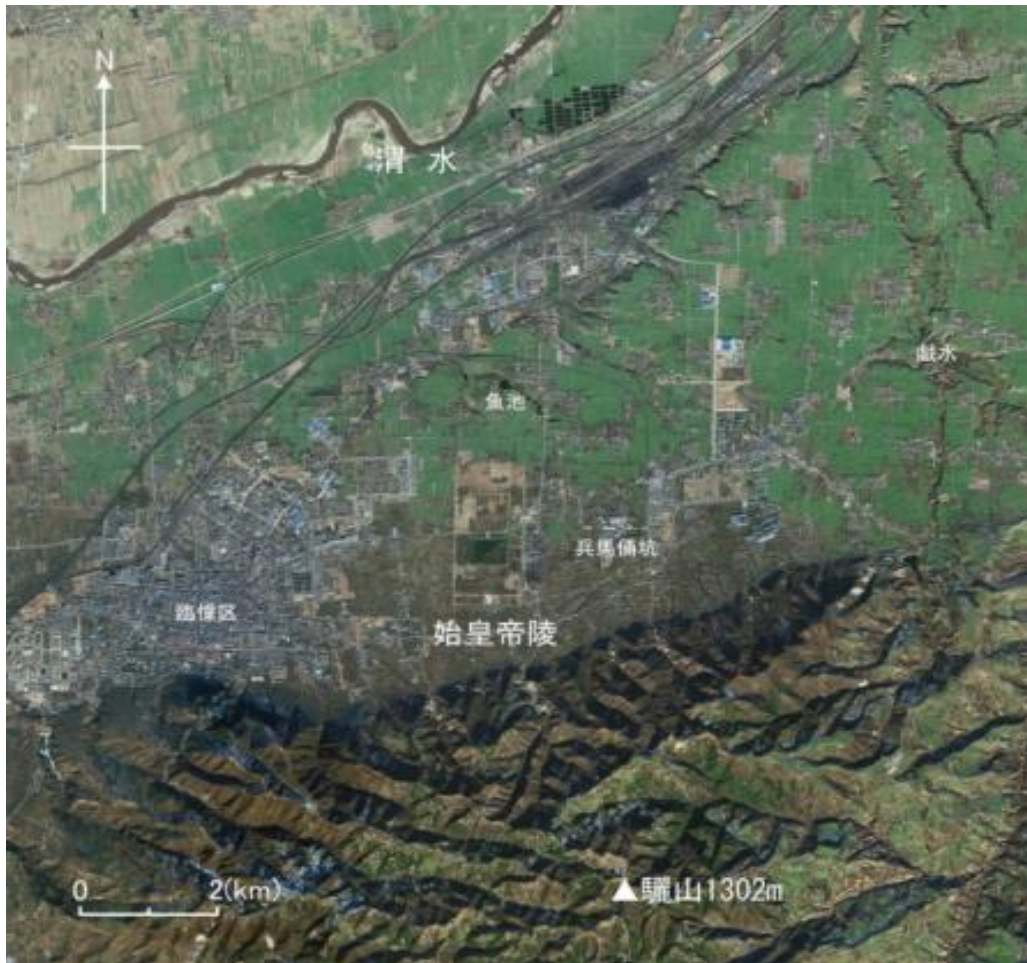


驪山・始皇帝陵園施設・巨大方墳

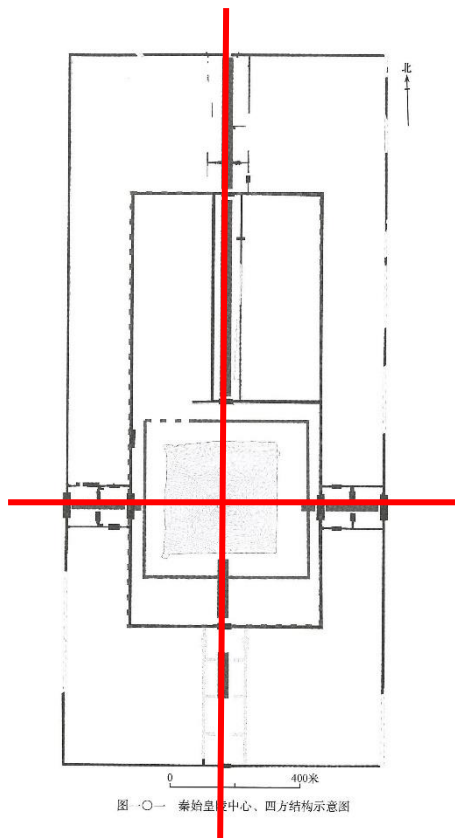


始皇帝陵園の内外城と段築方墳

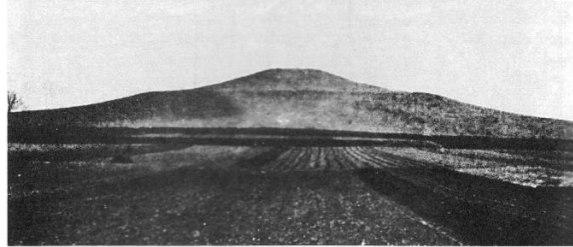
I. 始皇帝陵の立地と方位景観



始皇帝の巨大方墳・陵園の内外城



II. 「建中立極」の方位思想



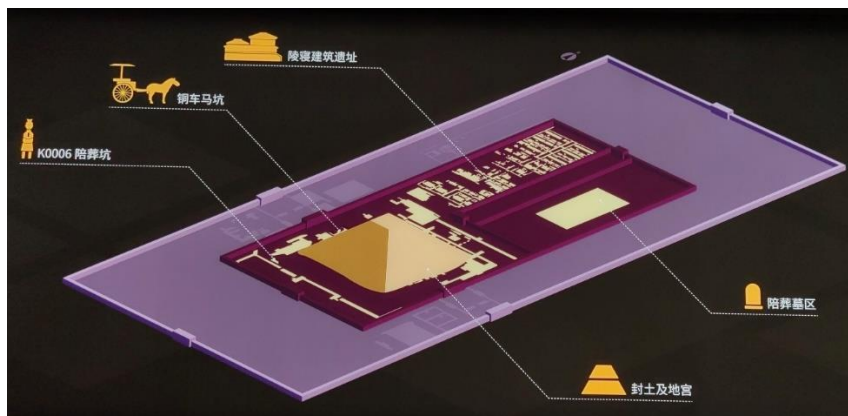
麗山陵の段築墳丘



銅車馬坑

III. 発掘資料からみた秦文化の時代色

墳墓中央で直交する南北・東西軸線から、帝陵築造における十字型の基軸を構成し、この基軸をもとに、麗山陵の大規模なグリッドプランが作成された。



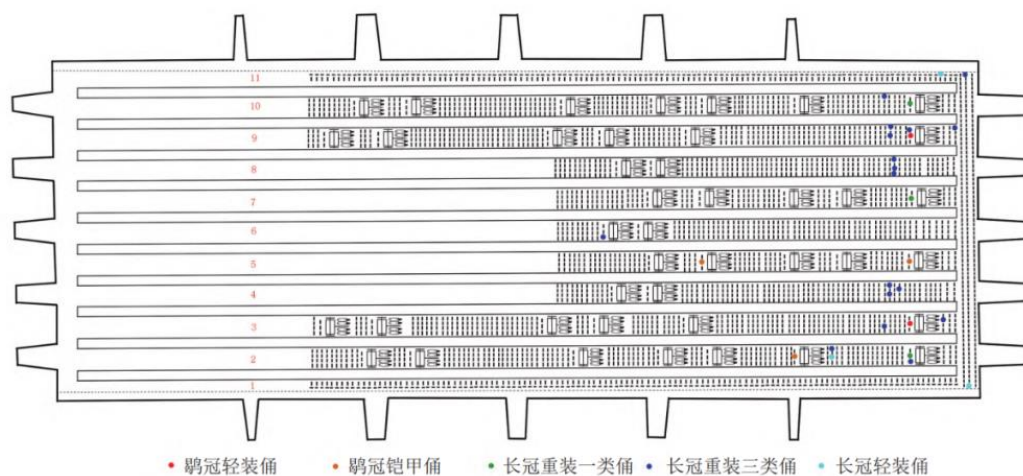
◇秦帝国の先端技術

- ・ 始皇帝の銅車馬<図 15>
- ・ 陵園東側の兵馬俑坑と始皇帝の地下軍団

◇信仰・祭祀遺物

- ・ 伎楽百戲俑坑、祭祀寝殿建築群、「樂府」鐘、珍禽異獸坑

始皇帝陵の地下軍団



兵馬俑 1 号坑の調査平面図



兵馬俑 1 号坑の発掘出土品



兵馬俑坑の出土遺物からみた秦帝国の軍事力



陵園内城区の発掘で検出した伎楽・百戲俑たち



石製鎧甲坑



麗山陵の水禽坑からの出土品



「楽府」鐘

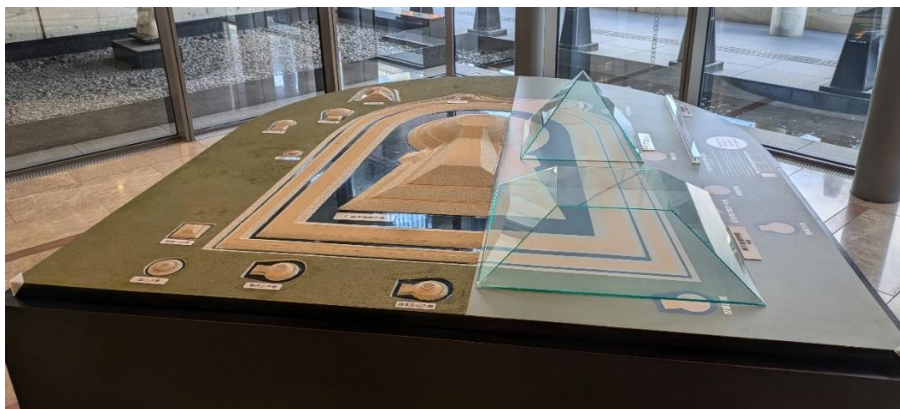


帝陵の陪葬墓：陵園外城西側C区1号墓の副葬品

結語 秦始皇帝陵は、古来「建中立極」の都城思想を受け継いだものである。自然界の驪山と渭水を意識し、巨大墳墓を中心とした十字型の軸線によって配置され、宇宙観的理念都市の空間構造と同様に、壮麗でかつ気宇壮大な始皇帝陵が創り出されたもので、古来中国世界における「天人合一」の代表的な文明装置である。



堺市長、羽曳野市長、藤井寺市長によるトークセッション



「古墳サミット」会場の特別展：世界三大墳墓の模型



大阪・堺市「古墳サミット」の会場風景

会場受付で当日の参加者が 1800 名（申込参加者定員 1700 名）、敬礼。